

2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年4月12日

上場会社名 株式会社アイドマ・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7373 URL <https://www.aidma-hd.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 三浦 陽平
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 阿部 光良 (TEL) 03(6455)7935
四半期報告書提出予定日 2024年4月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	5,054	19.3	1,226	△11.6	1,233	△11.2	699	△16.1
2023年8月期第2四半期	4,236	57.0	1,387	45.7	1,388	43.1	834	28.7

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 699百万円(△17.6%) 2023年8月期第2四半期 848百万円(30.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	45.94	44.51
2023年8月期第2四半期	54.88	53.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	9,272	5,998	64.7
2023年8月期	9,072	5,299	58.4

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 5,997百万円 2023年8月期 5,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	21.4	2,400	8.6	2,350	5.6	1,380	8.6	90.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	15,233,980株	2023年8月期	15,233,740株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	112株	2023年8月期	112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	15,233,713株	2023年8月期2Q	15,202,692株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による状況が、感染法上の位置づけが変わったことにより影響は緩和されつつあるものの、ロシア・ウクライナ情勢の影響等から原材料の高騰や為替の影響により物価上昇が続いており、継続して景況感が不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境としましては、テレワークが浸透し、就労の多様化が徐々に進展する一方で、企業における人手不足はますます深刻な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、中小企業を中心に営業リソース不足が深刻化している環境を、アウトソーシング拡大のビジネスチャンスとして捉え、主力サービスのセールス・プラットフォームサービスを中心とし、積極的にワーク・イノベーション事業の展開を推進してまいりました。その結果、在宅ワークが定着化した環境下におけるオンラインセールスの手法を必要とする多くの中小、中堅企業からご発注を頂くことになりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,054,776千円（前年同四半期19.3%増）、営業利益は1,226,527千円（同11.6%減）、経常利益は1,233,209千円（同11.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は699,864千円（同16.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は9,272,137千円となり、前連結会計年度末に比べ199,768千円増加となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、6,274,928千円となり、前連結会計年度末に比べ86,271千円の増加となりました。これは主に、有価証券が497,748千円増加した一方、投資有価証券の取得や法人税等の支払いにより現金及び預金が421,374千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、2,997,208千円となり、前連結会計年度末に比べ113,497千円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が322,637千円増加し、のれんが103,939千円及び投資その他の資産（その他）が72,400千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,273,863千円となり、前連結会計年度末に比べ499,285千円減少となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、3,046,132千円となり、前連結会計年度末に比べ476,077千円の減少となりました。これは主に、未払金が285,265千円及び未払法人税等が176,811千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、227,730千円となり、前連結会計年度末に比べ23,208千円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,998,273千円となり、前連結会計年度末に比べ699,054千円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金699,864千円の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び同等物は、前連結会計年度末に比べ421,374千円減少（前年同四半期は621,531千円の増加）し、5,224,306千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、467,628千円の収入（前年同四半期は1,041,585千円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額681,107千円や未払金の減少201,344千円があったものの、税金等調整前四半期純利益1,228,327千円の計上があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、886,092千円の支出（前年同四半期は411,510千円の支出）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出500,000千円や投資有価証券の取得による支出337,455千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,910千円の支出（前年同四半期は8,543千円の支出）となりました。これは主に、短期借入れによる収入430,000千円があったものの、短期借入金の返済による支出409,999千円や長期借入金の返済による支出20,897千円、シンジケートローン手数料の支払額2,016千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月13日に公表した2024年8月期連結業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,645,680	5,224,306
売掛金	583,649	629,045
有価証券	10,000	507,748
その他	218,399	247,032
貸倒引当金	△269,072	△333,204
流動資産合計	6,188,657	6,274,928
固定資産		
有形固定資産	173,418	159,790
無形固定資産		
ソフトウェア	87,164	102,783
のれん	1,001,578	897,638
顧客関連資産	112,416	100,583
無形固定資産合計	1,201,159	1,101,005
投資その他の資産		
投資有価証券	778,817	1,101,455
繰延税金資産	408,026	385,069
その他	322,288	249,887
投資その他の資産合計	1,509,132	1,736,412
固定資産合計	2,883,710	2,997,208
資産合計	9,072,368	9,272,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,886	255,014
短期借入金	350,000	370,001
1年内返済予定の長期借入金	41,780	44,091
未払法人税等	715,848	539,036
未払金	492,523	207,257
未払費用	175,075	187,510
契約負債	1,214,268	1,219,482
その他	272,828	223,738
流動負債合計	3,522,210	3,046,132
固定負債		
長期借入金	234,155	210,947
資産除去債務	16,783	16,783
固定負債合計	250,938	227,730
負債合計	3,773,149	3,273,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,075,225	1,075,226
資本剰余金	1,072,958	1,072,960
利益剰余金	3,121,703	3,821,568
自己株式	△287	△287
株主資本合計	5,269,600	5,969,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,177	28,366
その他の包括利益累計額合計	29,177	28,366
新株予約権	440	440
純資産合計	5,299,218	5,998,273
負債純資産合計	9,072,368	9,272,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	4,236,473	5,054,776
売上原価	1,065,158	1,369,918
売上総利益	3,171,315	3,684,858
販売費及び一般管理費	1,783,482	2,458,330
営業利益	1,387,832	1,226,527
営業外収益		
受取利息	22	24
助成金収入	-	2,345
償却債権取立益	4,234	13,188
匿名組合投資利益	-	7,748
その他	561	2,967
営業外収益合計	4,817	26,274
営業外費用		
支払利息	785	2,443
持分法による投資損失	-	13,647
シンジケートローン手数料	2,263	2,313
その他	850	1,187
営業外費用合計	3,900	19,592
経常利益	1,388,750	1,233,209
特別利益		
投資有価証券売却益	9,773	-
特別利益合計	9,773	-
特別損失		
固定資産除却損	-	4,881
特別損失合計	-	4,881
税金等調整前四半期純利益	1,398,524	1,228,327
法人税、住民税及び事業税	551,378	505,147
法人税等調整額	12,876	23,316
法人税等合計	564,255	528,463
四半期純利益	834,268	699,864
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	834,268	699,864

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	834,268	699,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,025	△811
その他の包括利益合計	14,025	△811
四半期包括利益	848,293	699,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	848,293	699,052
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,398,524	1,228,327
減価償却費	27,524	37,064
のれん償却額	66,984	103,939
貸倒引当金の増減額(△は減少)	45,364	64,132
受取利息及び受取配当金	△22	△24
支払利息	785	2,443
シンジケートローン手数料	2,263	2,313
匿名組合投資損益(△は益)	-	△7,748
持分法による投資損益(△は益)	-	13,647
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,773	-
売上債権の増減額(△は増加)	△109,319	△45,396
契約負債の増減額(△は減少)	△98,890	5,213
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,285	△4,871
固定資産除売却損益(△は益)	-	4,881
未払金の増減額(△は減少)	△213,931	△201,344
その他	9,797	△56,816
小計	1,084,022	1,145,763
利息及び配当金の受取額	22	24
利息の支払額	△781	△2,198
法人税等の支払額	△50,900	△681,107
法人税等の還付額	9,223	5,147
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,041,585	467,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△4,508	△85,822
投資有価証券の取得による支出	△67,776	△337,455
投資有価証券の売却による収入	9,773	-
投資有価証券の償還による収入	-	10,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△329,129	-
その他	△19,869	27,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△411,510	△886,092
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	430,000
短期借入金の返済による支出	△402,686	△409,999
長期借入金の返済による支出	△3,789	△20,897
株式の発行による収入	290	2
シンジケートローン手数料の支払額	△2,263	△2,016
自己株式の取得による支出	△94	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,543	△2,910
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	621,531	△421,374
現金及び現金同等物の期首残高	4,310,064	5,645,680
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,931,595	5,224,306

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2024年2月15日開催の取締役会において、ユニークキャリア株式会社（以下、「ユニークキャリア」）の普通株式の取得をすることを決議し、2024年3月1日付で当該株式を取得したことにより同社を子会社化いたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 ユニークキャリア株式会社

事業の内容 インターネットメディアの運営、企業のオウンドメディア運営代行、リスティング広告の運用・有料職業紹介事業

②企業結合を行った主な理由

当社は「すべての人の夢の実現に貢献する」ことを経営理念とし、「世界の可能性を広げる」というビジョンを掲げています。このビジョンを実現する第一歩として、「営業支援事業」、「業務支援事業」、「経営支援事業」の3つの事業を通じて日本がこれから必ず直面する、労働人口減少という社会課題を解決していく事業に取り組んでいます。

これまで、アウトバウンド営業を中心に培ってきた営業力および10,000社を超える豊富な顧客基盤に加え、クラウドワーカーを活用した生産性向上ノウハウ等の強みを有しています。

ユニークキャリアは、「未来を創るメディアを作る」をミッションに掲げ、人材領域でNo.1のメディアになることを目指し、ユーザーに寄り添ったインターネットメディアの運営、企業のオウンドメディア運営代行を行っています。上場企業やITファンドなどへメディアを事業譲渡した実績が複数あります。

ユニークキャリアが持つノウハウをかけ合わせることで、当社オウンドメディアの制作力向上、既存メディアの効果的な再編の実施、インバウンド型での集客などのシナジー効果が生まれ、企業価値向上に寄与すると見込まれることから子会社化に至りました。

③企業結合日

2024年3月1日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑥取得する議決権比率

70%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	164,500	千円
取得原価		164,500	千円

(3) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料 8,700千円(概算)

(4) 発生するのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。